

I 略年譜

年	月	日	
1949(昭和24)	秋		動物園開設地を現在地に決定(調査費約30万円計上)
1950(昭和25)	4		円山公園及び児童遊園経営に着手(5ヶ年計画で、4,050万円の事業費計上)
1951(昭和26)	5	5	札幌市円山児童遊戯施設として開設 収容動物3種4点(オオワシ1羽、エゾシカ1頭、ヒグマの子2頭)遊戯施設(仲よし電車、豆自動車)
	9	15	札幌市円山動物園に改称し、初代園長に中俣充志就任 敷地33,000㎡、収容動物20種43点、遊戯施設(仲よし電車、豆自動車、空中観覧車、コンビネーション)
1952(昭和27)	7	13	入園料徴収を始める〔大人20円、子供(12歳未満)10円〕 収容動物78種200点(ライオン、トラ、キリン、シマウマ等)
1953(昭和28)	4	1	園の敷地を132,000㎡に拡張し、第1期建設始まる
1954(昭和29)	6	6	世界動物大博覧会開催
1955(昭和30)	12	28	博物館相当施設の指定を受ける(文部省告示第108号)
1956(昭和31)	春		動物の芸を公開する(ゾウ、チンパンジー、アシカ、カンガルー等昭和41年頃まで続く)
1957(昭和32)	4	1	園の敷地を224,000㎡に拡張し、第2期建設始まる
1961(昭和36)	4	1	学齢未満の入園料無料化
	6	2	北海道博物館協会の設立と同時に加入
1964(昭和39)	8	1	二代目園長に中川敏就任
1965(昭和40)	4	24	開園15年記念行事「マジックフェア」開催(9月30日まで)
1966(昭和41)	4	1	管理業務の一部委託(園内清掃、収売札、ボイラー運転、飼料運搬)
	11	30	熱帯動物館完成(冬期開園実施)
1968(昭和43)	1	9	姉妹都市ポートランドにオジロワシ1羽贈る(昭和34年11月17日提携)
	6	1	札幌市創建100年記念行事「タイガショー」「世界の爬虫類展」開催(8月18日まで)
	9	24	大型遊戯施設設置(飛行塔、観覧車、ティーカップ、チェーンタワー)
1969(昭和44)	7	1	「世界の貝殻展」開催(8月17日まで)
	11	8	白熊舎(放養式)完成
1970(昭和45)	4	25	開園20年記念事業「走れ超高速展」開催(6月28日まで)
	7	4	開園20年記念事業「世界の昆虫展」開催(8月30日まで)
1971(昭和46)	11	17	姉妹都市ポートランドへエゾタヌキ1つがいを贈る
1972(昭和47)	2	2	冬季札幌オリンピック開催の折、天皇皇后両陛下ご来園
	9	15	市内在住65歳以上の敬老手帳所持者の入園料無料化
1973(昭和48)	4	1	中学生以下の入園料無料化
	8	30	姉妹都市ポートランドからビーバー1つがいの寄贈を受ける
1974(昭和49)	6	15	道内初のゴリラ1つがい入園
	6	20	熱帯植物館、爬虫類館、昆虫館完成
	9	25	姉妹都市ポートランドへエゾタヌキ1つがいを贈り、ビーバー1つがいの寄贈を受ける
1975(昭和50)	1	1	札幌市円山動物園協会設立
	7	1	開園25年記念「世界の貝殻展」開催(8月31日まで)
1977(昭和52)	11	17	類人猿館完成
1978(昭和53)	6	12	猛きん舎完成
	9	1	三代目園長に金森裕就任
	12	26	白鳥舎完成
1979(昭和54)	7	19	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹動物園提携記念に、同園からアメリカクマ2頭の寄贈を受ける
	8	1	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹動物園提携記念入園券発売(8月1日～9月3日まで74,800枚)
	8	5	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹提携調印式を当園で行う
	11	14	動物病理研究室完成
1980(昭和55)	1	23	姉妹都市ミュンヘンからヨーロッパオオカミ1つがいの寄贈を受ける(昭和47年8月28日姉妹都市提携)
	2	26	円山動物園のシンボルマーク決まる(開園30年記念として一般公募)
	3	28	世界のクマ館完成
	5	17	開園30年記念事業として入園者報償、モデル撮影会、入園記念ポストカードプレゼント等を行う
	12	15	こども動物園の拡張と増改築を行う
	12	21	オオカミ放養場完成

1982(昭和57)	10	9	サル山完成
1983(昭和58)	2	1	イヌワシ入園(大韓民国全州市公園管理事務所との動物交換)
	4	9	メガネグマ入園(ブラジル国ポータアレグロ・リオグランデ・ド・スル動物園から)
	9	20	友好都市瀋陽市ヘマントヒヒ1つがい、チリーフラミンゴ2羽を贈り、マナヅル及びアオカケイ1つがいの寄贈を受ける
	10	1	大型遊戯施設(観覧車、メリーカップ)更新
	12	23	洋蘭温室完成
1984(昭和59)	10	22	モンキーハウス完成
1985(昭和60)	7	1	四代目園長に金田壽夫就任
	10	10	回転飛行塔(スペースシャトル)更新
1986(昭和61)	12	18	総合水鳥舎完成
1987(昭和62)	6	1	建設局管理部から環境局緑化推進部へ所属替えとなる
	7	31	メリーゴーランド更新
	10	18	姉妹都市ノボシビルスク市からペルシアヒョウ1つがいとヨーロッパカワウソ1頭を受ける(動物交換による)
1988(昭和63)	2	5	タスマニアデビル3頭をオーストラリア・タスマニア州から寄贈を受ける
	12	11	円山動物園長期総合計画策定
1989(平成元)	9	15	前年2月に贈られたタスマニアデビルにつづいて、ウォンバット、ワラビーなど14種の動物が贈られることになり、これらの動物を収容するためタスマニア館が完成
1991(平成3)	3	20	動物科学館完成、こども動物園の拡張、大型遊戯施設(エレファント)更新
1992(平成4)	4	1	五代目園長に森永修正就任
	10	30	レストハウス(休憩所)完成
1993(平成5)	3	19	堆肥舎施設完成
1994(平成6)	4	1	六代目園長に福井正継就任
	6	17	円山動物園遊戯施設廃止
1995(平成7)	3	16	熱帯鳥類館完成
	3	28	西門改築完成
	3	31	円山公園第1駐車場改築完成
	4	29	子供の国遊園地「キッドランド」中島公園から移転オープン(札幌幌振興公社)
1996(平成8)	4	1	七代目園長に長尾章郎就任
1998(平成10)	4	1	動物園センター完成
	5	28	(社)日本動物園水族館協会総裁 秋篠宮殿下、総会ご出席の折、妃殿下とともにご来園
2000(平成12)	4	1	八代目園長に大内格之就任
	6	21	入園者四千万人達成
	9	9	円山動物園開園50年記念事業としてチンパンジー館(愛称マチカ)オープン(当日入園料無料)
2002(平成14)	4	1	九代目園長に北村健一就任
	5	17	開設時より飼育してきたオオワシ1羽が老衰により死亡
2003(平成15)	1	10	フクロウとタカの森完成
2004(平成16)	3	31	リスザルドーム完成
	4	1	十代目園長に藤沢武就任
2005(平成17)	3	31	ふれあい教室用建物完成
	4	1	年間パスポート発売
	12	9	園内動物病院完成
2006(平成18)	3	27	展望レストハウス完成
	4	1	十一代目園長に金澤信治就任
	6	27	円山動物園リスタート委員会設置
2007(平成19)	1	28	開園3年目に来園したアジアゾウが老衰により死亡
	3	22	札幌市円山動物園基本構想策定
	8	30	市民動物園会議設置
2008(平成20)	3	27	類人猿館屋外放飼場改修、ビーバーの森、ドサンコの森、ニワトリ・ウサギ広場及びエゾシカ・オオカミ舎完成
	4	1	アニマルファミリー制度運用開始
	7	30	園内にコンビニエンスストア セブン-イレブン円山動物園店開店
	8	10	札幌市円山動物園基本計画策定
2009(平成21)	3	1	自然体験ゾーン円山動物園の森完成
	4	1	十二代目園長に酒井裕司就任

2010(平成22).	2.	10	猛禽類野生復帰施設完成
	3.	18	エゾヒグマ館完成
	3.	31	昆虫館閉館
	9.	30	白鳥池、キッドランド「円山子供の国」閉鎖
	10.	6	韓国大田広域市との姉妹都市提携を記念し、オー・ワールドの動物園にコモンリスザル8頭を贈り、プチハイエナ2頭の寄贈を受ける（平成22年10月22日姉妹都市提携）
2011(平成23).	1.	31	開園60周年記念事業としてスノーフェスティバルの規模を拡大し、入園料を無料とした
	3.	24	は虫類・両生類館完成
	3.	27	は虫類館閉館
2012(平成24).	1.	1	開園60周年記念事業として正月三が日の入園料無料をスタート
	4.	1	十三代目園長に見上雄一就任
2013(平成25).	12.	12	寒帯館、高山館、熱帯雨林館からなる「アジアゾーン」完成
	4.	20	遊具広場「まるっば」完成
2014(平成26).	10.	31	台湾台北市立動物園と協力関係樹立の覚書締結
	4.	1	十四代目園長に田中俊成就任
2015(平成27).	12.	1	モンキーハウス改修
	2.	1	熱帯鳥類館改修
2016(平成28).	4.	1	さっぽろ円山動物園サポートクラブ発足
	8.	21	マレーグマ「ウッチー」の死亡事案に係る改善勧告書受理
	10.	23	環境局参与に小菅正夫就任
	10.	24	サル山改修
	10.	31	「アフリカゾーン」一部公開
2017(平成29).	4.	1	十五代目園長に加藤修就任
	4.	1	開園時間及び休園日変更
	8.	22	「アフリカゾーン」全面公開
2018(平成30).	8.	28	熱帯動物館閉館
	1.	11	カンガルー館改修
	2.	28	北海道大学大学院獣医学部医学研究科・獣医学部との連携・協同に関する協定の締結
2019(平成31).	10.	20	ホッキョクグマ館完成
	3.	13	ホッキョクグマ館オープン
	9.	5	台風による倒木の影響で緊急閉園
	9.	6	北海道胆振東部地震に伴う停電の影響で緊急閉園（～9/9）
	9.	20	ゾウ舎完成
2020(令和 2).	11.	30	アジアゾウ4頭がミャンマー連邦共和国から来園
	3.	12	ゾウ舎オープン
2021(令和 3).	3.	20	札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」策定
	3.	1	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした「北海道緊急事態宣言」により休園（～3/31）
	3.	30	札幌市円山動物園ビジョン2050「第1次実施計画」策定
	4.	1	屋内休憩スペースの閉鎖等を行い開園
	4.	14	臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～6/2）
	6.	3	すべての屋内施設を閉鎖し開園（～6/30）
2022(令和 4).	12.	24	開園70周年記念ロゴデザイン決定
	1.	1～	開園70周年記念事業が開始。地下鉄全駅や円山公園駅ホーム柵に動物のポスターを掲示。その他、周年記念ロゴをモチーフとした民間企業とのコラボレーション商品制作、発売を実施。
	4.	1	十六代目園長に神賢寿就任
	4.	19	1日の来園者数の予約上限を8,000人とし、完全予約制を開始
	4.	24	来園者数の予約上限を8,000人から5,000人に変更
	5.	6	臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～7/11）
	8.	28～	臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～9/30）
	9.	30	セブン-イレブン円山動物園店閉店
	10.	31	来園者の完全予約制を終了
	6.	6	札幌市動物園条例の制定
2023(令和 5).	6.	6	動物園応援基金設置
	7.	15	園内にミュージアムショップ・円山開店
	3.	9	札幌市円山動物園動物福祉規程施行
	4.	1	十七代目園長に柴田千賀子就任
	4.	1	札幌市動物園条例の全部施行
4.	1	「さっぽろの動物園ステップアップ制度」開始	